

## 「原子燃料サプライチェーンの確立を推進するにあたっての多国間声明」に関する産業界共同声明について（仮訳）

私たち原子力エネルギー産業の代表者として、今日の 5 か国による国際間燃料コミットメントに励まされています。これは、今春札幌で開催された G7 気候、エネルギー、環境大臣会合で我々の政府と原子力産業が始めた重要なコミットメントと軌を一にしています。

今週初めに COP28 で、これらの政府を含む約 20 か国が、2050 年までに原子力発電設備容量を 3 倍にするという野心的な声明を発表しました。世界中でクリーンな原子力エネルギーへの需要が急増する中、信頼できる安全な燃料供給が必要とされています。これは私たちの脱炭素化とエネルギー自律性を高めるだけでなく、私たちの集団的な国家安全保障も強化します。産業界の実行能力を構築するためには政府の行動が不可欠ですが、今日行われたコミットメントを前進させるには、民間企業や金融機関の投資も必要です。

「平和のための原子力 (Atoms for Peace)」の 70 周年を祝うにあたり、今後数十年間にわたって原子力発電容量を拡大するために必要な原子力インフラを確立するため、同志国との協力がこれまで以上に重要になっています。